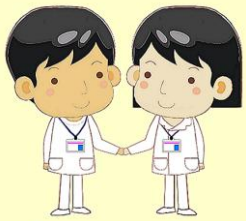
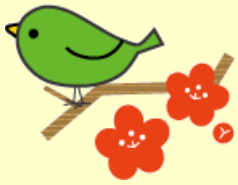


キャリア支援室だより つながり



Vol.11　2012. 02. 24 発行　看護部キャリア支援室（内線　7807）

理学療法士（新人技術研修講師）からのつながり

先日、新人ナース約 100 名を対象に「看護部　関節可動域訓練・肺理学療法研修」をリハビリテーション部が担当させていただきました。今回の研修では①入院中の患者さんの廃用症候群の予防と離床の促進、肺合併症の予防を促進する、②教科書的な内容にとどまらず、理学療法士が臨床でナースとの連携強化の必要性を感じている点に焦点を当て、可能な限り具体的・定量的な表現とする、③看護部の研修方針と整合性のある内容とする、などの点に留意して準備しました。参加した方から多くの感想をいただき、元気をいただくと共にいくつかの課題も感じています。多職種が協働して医療を行うには、認識を共有する職種間での意識的努力が必要と思います。今後は実践的な一致点を高める取り組みをより広い範囲で進めたいと考えています。 診療支援部理工部門技師長　堀　享一

新卒者看護技術研修①12 月 10 日「心肺蘇生・気管内挿管の介助」「静脈注射講義」

適度な緊張感のもと、基本的知識を学び、心肺蘇生モデル、ＡＥＤを使用し演習で体験する事ができました。静脈注射に関して、法的解釈、薬剤知識、注射の実際と合併症の講義をききました。

②1 月 14 日「肺理学療法・関節可動域訓練」「静脈注射」

「肺理学療法・関節可動域訓練」は新人研修プログラムの中で目標が明確になり今年度から開始した研修です。理学療法士による肺理学療法のためのフィジカルアセスメントの基礎知識等の講義後、肺音聴取、体位排痰法、関節可動域訓練、筋力強化方法等を実践し知識と実践が統合できる研修でした。「解剖学的説明がありわかりやすく、なるほど！がたくさんでした」と感想がありました。静脈注射は血管モデルに、一人３回ずつ静脈穿刺を行い、「繰り返し行うことで自分の不足点を明らかにできた」と感想がありました。

臨地実習指導者修了証授与式　H23 年 12 月 22 日

平成 23 年度臨地実習指導者養成コースとして、計 6 回の講義・演習が開催されました。修了試験・審査に合格し臨地実習指導者修了証を川畑看護部長から授与されました。臨地実習指導者の役割は、「実習指導や新人看護師教育のリーダーとして、部署内教育に参画し、看護実践教育を行なう」ことであり、活躍が期待されます。臨地実習指導者は平成 24 年度から始まる指導看護師養成コースの受講資格を取得しています。更なるキャリア開発が期待されます。

看護技術研修室「開放」

1 月 10 日から開始し、延べ 50 人が活用し摘便、膀胱留置カテーテルの演習が多くされています。新人同士での活用も多く、自部署の方法を確認し意見交換し積極的に学ぶ姿がみられます。4 月以降の案内は後日致します。今後も積極的な活用を期待します。

新人看護職員他部署研修(1 月 16 日～27 日)

「他部署で看護技術を経験する事で経験値を拡げ、看護師としての成長の一助とする」を目的に 11-1 新人看護職員 4 名が、6-2 病棟で 5 日間ずつ研修を受けました。事前に未経験の看護技術の自己学習や演習を実施した上で、6-2 看護師の指導のもと、多くの看護技術を経験でき、更に、患者の状態に合わせた看護技術の方法、注意点を学ぶ事ができました。「普段は経験できない技術を経験できてよかった」「今回の経験を活かしていきたい」と話し有意義な研修となりました。今後は 7-1 新人看護職員が 8-2 病棟で研修予定です。

研修のお知らせ　☆　3 月 14 日プリセプター研修

新人看護職員を迎える体制を整えるために、研修での学びを部署で活用することが期待されます。